

2012 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	商学部	身分	准教授
氏名	市村 誠		
NAME	Makoto ICHIMURA		

1. 研究課題

(和文) わが国親子上場企業の経営と企業評価・コーポレート・ガバナンスに関する研究
ー財務管理の見地からー

(英文) Corporate Value, Corporate Governance and Agency Problem of the Listed Parent-
Listed Subsidiaries Structure in Japan

2. 研究期間

2 年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word
程度)

(和文)

本研究はわが国の親子上場企業に焦点を当て、その企業経営が企業価値やコーポレート・ガバナンスに及ぼす影響について考察することを目的とする。

いうまでもなく、親子上場は企業グループにおいて、親会社、子会社がともにその株式を証券取引所に上場している体制をいう。この親子上場はわが国固有で批判的な議論もあるが、継続しているあるいは新規に子会社上場を行う企業グループも存在する。はたして親子上場はどのような動機・機能や目的のもとで構築され、いかに評価されるべきかについて、親会社・子会社それぞれの資金調達行動や株主に焦点を当て、企業価値、コーポレート・ガバナンス、そしてエージェンシー問題によるアプローチから検討する。また、いかなる環境や動機の変化が上場子会社の上場廃止や組織統合 (あるいはスピン・オフや完全子会社化) といった再構築の動機についても考察する。

方法論としては、先行研究のサーベイや調査等により親子上場の論点を洗い出し、それをもとに親子上場企業個別のケーススタディにより個々の親子上場企業の個別の戦略や財務行動等にスポットを当てている。同時に統計的な手法による分析も視野に入れる。多くの親子上場企業が存在するが、本研究以後も継続的にケースの積み上げを行いたい。

(英文)

We focus on the corporate structure, in which both parent and subsidiaries are publicly listed. The management control of a public subsidiary by a public parent may have conflicts and problems for managing corporate wealth. Even though the parent may have a significant interest in the corporate control of subsidiaries, the top managements of the subsidiaries owe their fiduciary obligations to all the subsidiary's shareholders, and not merely to the parent. We examine the public subsidiaries' value are affected by the public parent firm strategies or corporate governance.

